

CXシステムラインアップ

飛翔性昆虫対策モデル



CXステーションST
複数台の装置からのカウント・その他データを収集し1台の通信端末でデータ転送する装置です。



オプトカウンタCX
CXシステムのモニタリング捕虫器。捕獲される虫をセンサで感知してカウントし、CXステーションへデータを転送します。



クリンエコラインCX II
理想の飛翔性昆虫防除システムを追求し、開発したイカリ独自の吸引式高機能捕虫器。虫をセンサで感知してカウントし、CXステーションへデータを転送します。



(CX用)おんどとり
CXシステムの温湿度モニタリング機器。温湿度データを10分毎に記録し、CXステーションにデータを転送します。



CXステーションST
複数台の装置からのカウント・その他データを収集し1台の通信端末でデータ転送する装置です。



CXステーションRVII
複数台の装置からのカウント・画像データ・その他データを収集し1台の通信端末でデータ転送する装置です。



CXリレーユニット
各装置からのデータ通信がCXステーションまで到達しない場合に、電波を中継させる装置です。



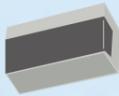
CXビューワカメラ
動画記録用暗視カメラ。ラットカウンタCXの信号を受けて、動画をCXステーションへ転送します。



ラットカウンタCX
軽量、小型で狭い空間に設置できる識別式監視センサ。CXステーションへ、ネズミのカウントデータを転送します。



CX制御盤
各種センサよりカウント信号を受け、設定したカウント数に達したときに、組み合わせたLEDライトや超音波防虫器を設定時間動作させることができます。



CXシャッター/CXドアセンサ
信号線でCXステーションと接続させて、シャッターやドア開閉の状況を確認する装置。開閉頻度と捕獲の相関解析や開閉管理に利用します。



チュークリンチェッカー
チュークリン等に取り付けることにより、捕獲されたネズミによるチュークリンの振動を検知してCXステーションへデータを転送します。



CXシステム用回転灯
各種センサのカウント数が、上限値に達すると音と光で警告します。CX制御盤と組み合わせて使用します。

CXシステム仕様

	CXステーションST	CXステーションRVII	クリンエコラインCX II	オプトカウンタCX II	(CX用)おんどとり	ラットカウンタCX
寸法 (mm)	W245×D60×H338 (アンテナの長さ) 100mm	W245×H338×D60	W720×H480×D195	W687×H169×D111	W78×H58×D26	W157×D76×H93
重量	約2.4kg	約2.4kg	約15kg(壁付金具別)	約6.0kg	55g	950g
定格電圧	AC100V/5V (専用ACアダプタ使用)	AC100V (ACアダプタ使用)	AC100V・50/60Hz	AC100V・50/60Hz	単三アルカリ電池×2	単三アルカリ電池×6本 (内2本はCX無線ユニット分)
消費電力	最大15W	最大48W	180W	24W		
無線通信	ZigBee準拠 (Digi社製XBeeモジュール)	ZigBee準拠 (Digi社製XBeeモジュール)	ZigBee準拠 (Digi社製XBeeモジュール)	ZigBee準拠 (Digi社製XBeeモジュール)	Wifiルーター	ZigBee準拠 (Digi社製XBeeモジュール)
備考	docomo, au 対応(LTE)	docomo, au 対応(LTE)	捕虫方式:ファンによる吸引式 最小感知サイズ0.7mm※	捕虫方式:粘着式 最小感知サイズ0.7mm※	温度:-25~70℃ 湿度:0~99%RH	上部識別センサ 20秒 下部ネズミセンサ(左右) 10秒
	CXビューワカメラ	チュークリンチェッカー	CXリレーユニット	CX制御盤	CXシステム用回転灯	
寸法 (mm)	W57×D85×H55	W50×H20×D35	(本体) 92×66.5×28 (アンテナ) 100×φ10×2本	W300×H350×D84	H152×φ107	
重量	430g	33g	約73g	1.2kg	約540g	
定格電圧	AC100V/12V (専用ACアダプタ使用)	コイン型リチウム電池 CR2032 1個	AC100V/3V (専用ACアダプタ使用)	AC100V	AC100V・50/60Hz	
消費電力	約2.8W		6W	3W	2.5W(待機時1.4W)	
無線通信		ZigBee準拠 (Digi社製XBeeモジュール)	ZigBee準拠 (Digi社製XBeeモジュール)			
備考	画素数:41万画素 最低照度:IR時:0Lux(IR範囲内)	無線送信範囲の目安:10m		温度:0~35℃ 湿度:80%RH以下	黄色LED光 ブザー音量調節可能	

※:当社実験データによるもので、この値を保証するものではありません。●部合により製品の仕様及び外観の一部を予告なく変更する場合があります。

IKARI イカリ消毒株式会社

本社 | 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-11
TEL. 03-3356-6191 FAX. 03-3350-1405

大阪オフィス | 〒542-0076 大阪府大阪市中央区難波5-1-60
TEL. 06-6636-2741 FAX. 06-6636-2720

<https://www.ikari.co.jp/>

このパンフレットに記載されている内容は2025年9月現在のものです

お問い合わせ先

よりそい、つよく、ささえる。

IKARI

特許取得済

オンライン有害生物管理

Communication eXpress システム

CXsystem

スマート・リスクナビ

衛生管理の、未来のかたち。

オンラインによる有害生物管理システムのご提案

オンライン有害生物管理 スマート・リスクナビCXシステムは、遠隔設置された複数台の装置から、カウント・動画・その他データ等を収集し、インターネットを通じて、リアルタイムに監視するシステムです。

リアルタイムに監視することにより、問題発生時の即対応が可能。問題を最小限にとどめます。

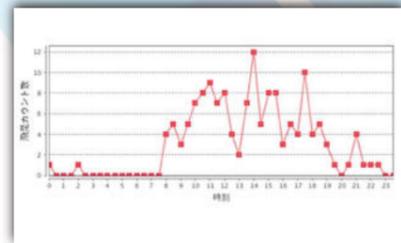
これらの収集した各種データについては、時系列データによる防除効果の検証や前年度比較による発生の予測・推察などさまざまな活用ができます。加えて、有害生物管理に関わるドア開閉管理や温湿度などの各種データの収集も可能。一歩先を行く有害生物管理を実現します。

これからの有害生物管理はオンラインで。ゼロベース管理の実現へ。

データ活用事例

●日時検証

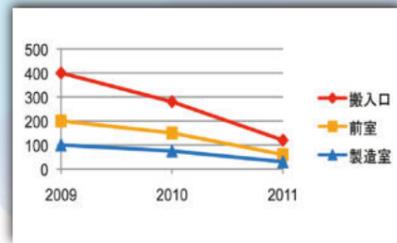
—データを分析する



休止時は陽圧状態だが、稼働時は場内が陰圧状態になり、工場各所から飛来虫が侵入している可能性がある。

●年度検証

—データを活用する①



各地点での捕獲数が年々減少しており、改善活動がうまく進んでいるかの検証が可能。

●短期検証

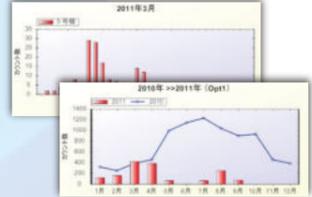
—データを活用する②



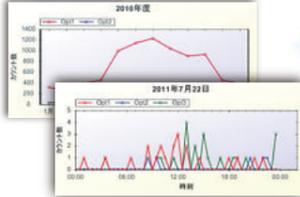
改善活動(工事・清掃・殺虫、等)が、どれくらいの効果が出ているかの検証が可能。

●この他にもさまざまな閲覧可能なデータがございます。

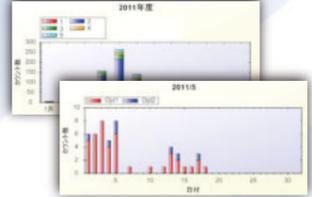
捕虫器1台のグラフ例



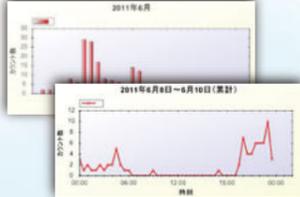
複数台の捕虫器比較グラフ例



複数台の集計グラフ例

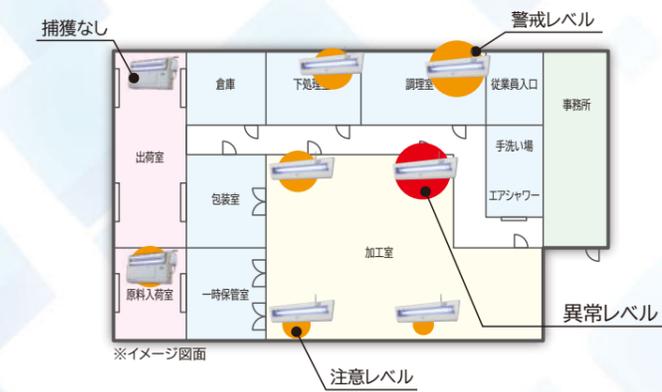


任意期間の時間帯集計例



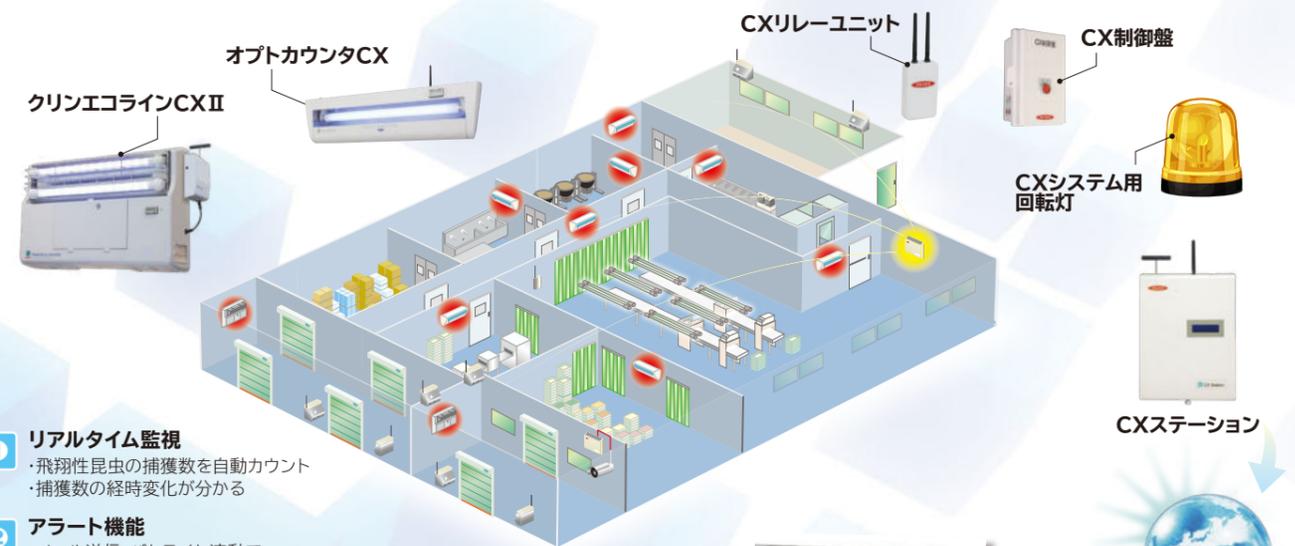
●図面管理ソフトを使用すればさらにわかりやすい(オプション)

お客様の工場の図面を登録すれば、捕虫器の場所と捕獲数が簡単に把握。また、1日あたりのカウント数上限値を設定することで異常がある捕虫器をすばやく発見。即対応が可能になり問題を小さくにとめることができます。



※イメージ図面

飛翔性昆虫対策



- リアルタイム監視**
 - 飛翔性昆虫の捕獲数を自動カウント
 - 捕獲数の経時変化が分かる
- アラート機能**
 - メール送信、パトライト連動で異常値をお知らせ
- データ活用**
 - 捕獲時間と数が連動したデータをさまざまな形で編集可能
 - 複数配置により虫の移動経路が見えてくる
- 大量捕獲用(外部侵入対策)**
 - 20W2灯の誘虫灯と反射板で強力誘引
 - 吸引捕獲式なので虫を大量に捕まえても目立ちません
 - 搬出入口など外部から飛来する箇所におすすめ
- 各端末のデータを一括送信**
 - オフィスのパソコンからデータの閲覧が可能
 - 一括送信するため通信費を圧縮できます
- 端末の無線化**
 - 電波状態が悪い場所や、配線が困難な場所でも無線で延長が可能

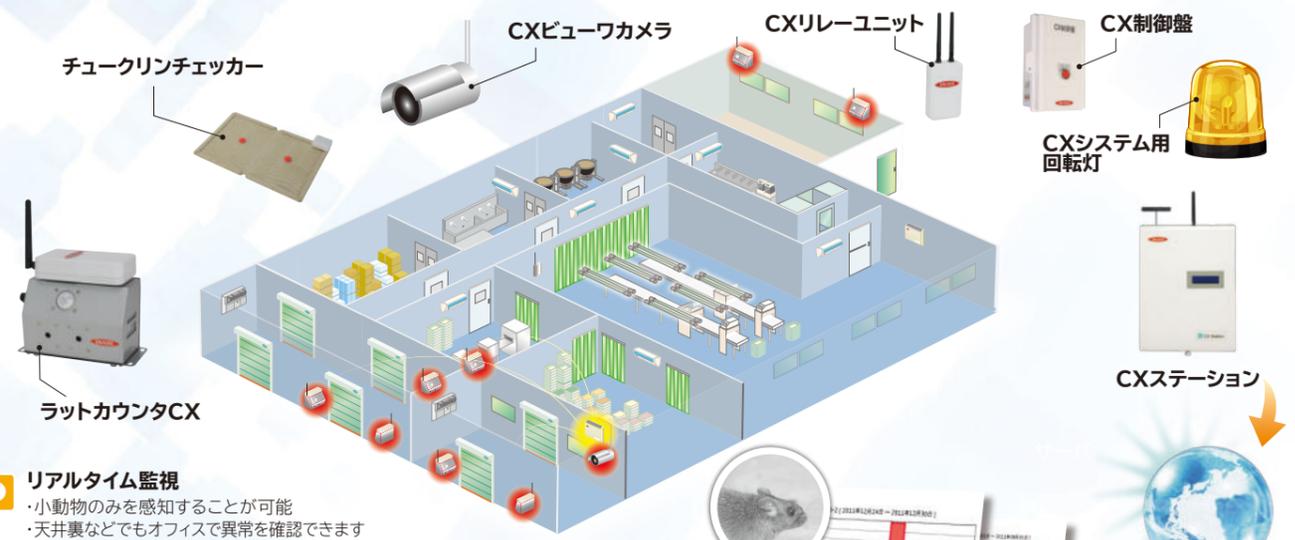
ドア開閉管理

- 飛翔性昆虫の捕獲数とドア開閉頻度の相関を解析
- 飛翔性昆虫の捕獲数が一定数を超えた場合に開閉管理等の対策立案

温湿度管理

- 飛翔性昆虫の捕獲数との相関を解析
- 昆虫の発生予測をします(カビの発生予測)

ネズミ対策



- リアルタイム監視**
 - 小動物のみを感知することが可能
 - 天井裏などでもオフィスで異常を確認できます
- アラート機能**
 - メール送信、パトライト連動で異常値をお知らせ
- 動画記録機能**
 - ラットカウンタCXが感知した前後の動画を撮影
 - ネズミの移動方向を確認できます
- 各端末のデータを一括送信**
 - オフィスのパソコンからデータの閲覧が可能
 - 一括送信するため通信費を圧縮できます
- 端末の無線化**
 - 電波状態が悪い場所や、配線が困難な場所でも無線で延長が可能